

国際セミナー「モバイル・ビッグデータの交通計画への活用」

運輸総合研究所 宿利 正史 会長 挨拶

サワディーカップ。運輸総合研究所会長の宿利正史です。

本日の国際セミナー「モバイル・ビッグデータの交通計画への活用」に、タイ王国の皆様、ASEAN 各国や ASEAN 事務局の代表者の皆様、タイ在住の日本の皆様など、多くの皆様方にご出席いただきまして、心から感謝申し上げます。

とりわけ、ご多忙の中、昨日に引き続きアーコム・トゥームピッターパイシット タイ王国 前運輸大臣閣下のご臨席を得、また、チャヤタン・プロムソーン タイ運輸省 OTP 局長、梨田和也 駐タイ王国 特命全権大使、岡西康博 国土交通省 国際統括官にご臨席いただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

まず最初に、本日のセミナーの開催に当たりまして、多大なるご支援をいただいた、サックサヤーム・チッドチョーブタイ王国 運輸大臣閣下、アーコム タイ王国 前運輸大臣閣下、タイ王国 運輸省、ASEAN 各国及び ASEAN 事務局、在タイ日本国大使館、日本の国土交通省、JICA、在タイ日本商工会議所などの皆様方に対し、心から感謝申し上げます。

さて、私ども運輸総合研究所は、日本が高度経済成長の真只中にありました1968年に、当時の運輸大臣、後の内閣総理大臣 中曽根康弘のイニシアティブの下、当時の運輸省、経済界、学界の協力により、運輸交通、観光分野のシンクタンクとして創設されました。以来、52年間にわたり、運輸交通及び観光分野の政策提言や研究・調査、各種セミナーの開催など精力的に活動してまいりました。また、この間1991年に米国ワシントンD.C.に JITTI USA (Japan International Transport and Tourism Institute, USA) を設置し、運輸交通及び観光分野の国際的な活動にも力を注いでおります。

タイ王国をはじめとする ASEAN 各国は、着実な経済発展を遂げ、今や ASEAN 地域は世界の成長センターとして大きく期待されています。しかしながら、域内の大都市では深刻な交通事故や交通渋滞、大気汚染などの問題に直面し、これらの問題の解決に向けた本格的な取組みが喫緊の政策課題となっています。一方で、IoT、AI、ビッグデータなど新たなテクノロジーが急速に発展し、また、ASEAN 各国においてもスマートフォン・携帯電話の利用が

著しく普及している中で、モバイル・ビッグデータを交通問題の解決に活用することが大変重要であり強く期待されるところです。昨日のセミナーにおいても、鉄道について需要を正確に予測することの重要性が強調されていたことをご記憶の方もおられると思います。

本日のセミナーでは、日本から東京大学の関本義秀 准教授を、またタイ王国から Big Data Experience Center の Director であるティラニー・アチャラクン博士をお招きし、お二人からビッグデータの交通分野及び観光分野への活用という観点から基調講演をしていただきます。その後、当研究所の室井研究員より、日本におけるモバイル・ビッグデータの活用と個人情報保護法との関係について報告するとともに、ASEAN 各国及び ASEAN 事務局よりそれぞれビッグデータの活用に関する個人情報保護法の現状と課題について発表し、議論をしていただきたいと思いますと考えております。

本日のセミナーは、本日ご臨席いただいているアーコム タイ王国 前運輸大臣が、2018 年 11 月に、当時の藤田耕三 国土交通審議官と共同議長を務められ、バンコクで開催された「第 16 回 日 ASEAN 交通大臣会合」において、日本と ASEAN 各国の交通関係大臣の合意に基づく日 ASEAN 交通連携プロジェクトとして承認されたものであり、今回のセミナーもこの合意に基づいて実施するものです。この時に発表された両議長による共同声明の中でも、この「モバイル・ビッグデータの活用」が、もう 1 つの新たな柱である「交通安全対策プロジェクト」とともに明示されており、その意味からも日本と ASEAN 各国との運輸交通分野における友好的な取組みかつ重要な取組みの好例として、大変意義深いプロジェクトであると考えております。

主催者といたしまして、本日のセミナーが、ご参加いただきました皆様方にとりまして有益なものとなりますとともに、ASEAN におけるモバイル・ビッグデータの交通計画への活用の今後の展開の一助となりますことを強く希望しております。

ところで、当研究所は、ASEAN 地域における国際的な活動を継続的に強化するため、活動の拠点を今年中に新たにバンコクに設置することとしています。このための諸準備及び設置後の本格的な活動につきまして、タイ王国運輸省をはじめ、ASEAN 各国及び ASEAN 事務局、在タイ日本国大使館ほか多くの関係の皆様方のご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、運輸総合研究所の活動は、日本財団の特別の支援を受けて行っていることを申し添え、開会のご挨拶といたします。

コップンカップ。

以 上